

- 一、臨時雇傭制度反対の件
- 一、印刷失業者同盟組織の件
- 一、印刷資本家の労働者に対する件
- 一、印刷工場従業員代表者協議会創立の件
- 一、婦人救済実の件
- 一、一大組合宣傳部に関するの件

以上

労働農民党支持に関する決議案

決議文

本組合大会は労働農民党が真に無産階級の政治闘争機関たる実力を発揮し得る様、全力をあげて支持することを決議する。

単一無産政党の建設は、我国無産大衆の深刻なる要求であつて、昨年八月日本農民組合提唱の下に設置された無産政党組織準備委員会は此の要求に応いて全国的大衆的単一無産政党の組織に向つてその準備を進めたのであつた。本組合もその属する日本労働組合評議会と共に此の大衆的準備に加つて階級的忠誠を守り来つたのであるが、労働運動内閣に於けるガルスヨア代理はた日利和見幹部の意疎なる策動によつて無産階級の政治的共同戦線が妨害されんとする危険が、日本労働総同盟の脱退となつて現はれるや、わが組合評議会は全無産階級運動のために一時の犠牲を払ふ決心を以て第一次無産政党(農民労働党)の結党直前、ガルスヨア官憲によつて結党後直ちに選挙禁止されたが、政治的共同戦線に對する大衆の熱望は、更に第二次無産政党の組織に向つて集中せられ、遂に去る三月五日第二次無産政党(労働農民党)の結党を見事に至つた。我々加此の労働農民党の結党団体たるを得たりしは遺憾であるが、而も同党に對して滿腔の誠意と實際上の支持とを有する事は、全国無産大衆の認むるところであらう。